



2024年 5 月 22 日

各 位

上場会社名 株式会社京写
代表者 代表取締役社長 児嶋 一登
(コード番号 6837)
問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 経営管理本部長
平岡 俊也
(TEL 075-631-3193)

譲渡制限付株式報酬制度の継続及び一部改定のお知らせ

当社は、2022年 5 月 20 日付の「譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり、当社の取締役（社外取締役を除きます。）を対象とした譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入しております。2024年 5 月 22 日付の「監査等委員会設置会社への移行、定款の一部変更及び役員人事に関するお知らせ」にて別途開示しておりますとおり、当社は、2024年 6 月 21 日開催予定の第 66 回定時株主総会（以下「本株主総会」といいます。）における承認を条件として、監査等委員会設置会社に移行することといたしました。これに伴い、監査等委員会設置会社移行後の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除きます。）（以下「対象取締役」といいます。）に対する本制度に関する議案を本株主総会に改めて付議することといたしましたので、以下の通り、お知らせいたします。

なお、本制度の変更は、本株主総会で監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行に係る定款変更議案が承認可決されることを条件としております。

1. 本制度の目的

本制度は、対象取締役に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するとともに、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として導入される制度です。

2. 本制度の概要及び一部改定について

対象取締役は、本制度に基づき当社より支給された金銭報酬債権の全部を現物出資財産として払い込み、当社の普通株式の発行又は処分を受けることとなります。

当社の取締役（社外取締役を除きます。）及び監査役（常勤監査役に限ります。）に対して支給される譲渡制限付株式報酬の額は、2022年 6 月 24 日開催の第 64 回定時株主総会において、金銭報酬額とは別枠で、取締役については年額 8 百万円以内、監査役については年額 2 百万円以内（発行又は処分される当社の普通株式の総数は、取締役については年 10,000 株以内、監査役については年 2,000 株以内）とすることについてご承認いただき、今日に至っております。

当社は、本株主総会において監査等委員会設置会社へ移行することに伴い、監査等委員でない取締役及び監査等委員である取締役それぞれの金銭報酬等の額について付議するとともに、これとは別枠で、本制度に基づき対象取締役に対して譲渡制限付株式を付与するための報酬を支給することについて、本株主総会に付議することといたします。

本制度に基づき対象取締役に対して支給される報酬総額は、本株主総会に付議させていただく対象取

締役の金銭報酬額とは別枠で、年額24百万円以内（発行又は処分される当社の普通株式の総数は年30,000株以内）といたします（なお、当社普通株式の株式分割又は株式併合が行われるなど株式数の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときは、発行又は処分される株式数を合理的に調整することができるものとします。）。

本制度の導入目的の一つである株主価値の共有を中長期にわたって実現するため、譲渡制限期間は譲渡制限株式の交付日から当該対象取締役が当社の取締役その他当社取締役会で定める地位のいずれの地位も喪失する日までとしております。各対象取締役への具体的な支給時期及び配分については、取締役会において決定いたします。

また、本制度により発行又は処分される当社の普通株式の1株当たりの払込金額は、取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社の普通株式の終値（同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値）を基礎として、対象取締役に特に有利とされない範囲において取締役会において決定いたします。

なお、本制度による当社の普通株式の発行又は処分に当たっては、当社と対象取締役との間で譲渡制限付株式割当契約（以下「本割当契約」といいます）を締結するものとし、その内容として、次の事項が含まれることとします。

- ① 対象取締役は、あらかじめ定められた期間、本割当契約により割当てを受けた当社の普通株式について譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならないこと
- ② 一定の事由が生じた場合には当社が当該普通株式を無償で取得すること

以上